

楽しみながら式と計算に親しんだ 1年「3つのかずのけいさん」

今年の研究授業6本目は1年生です。夏休み直前に行われた授業の様子を紹介します。

$1+1=2$ 。これは多くの子が簡単にできます。では、 $1+1$ の計算はどんな時に使うのでしょうか。実際の生活場面で計算を使えるようになるためには、ただ計算練習をするだけでは不十分です。

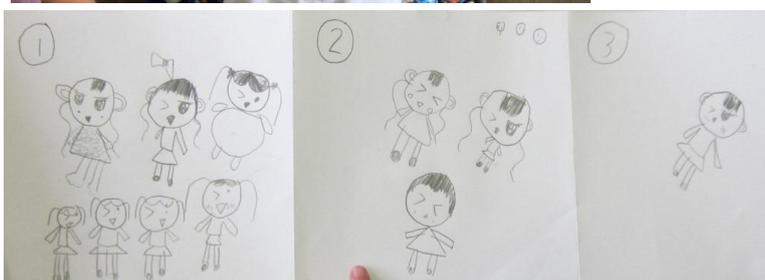
そこで、1年生はこれまで問題作り（おはなし作り）に力を入れてきました。たし算やひき算の出てくる問題を作るのです。

けれども、この時期の1年生は、文をすらすらと書ける子がまだ多くはありません。そこで、問題を絵にかくことにしました。

こちらは1組の様子です。「問題をつくる」授業です。まずは、例を見せながら、活動のイメージを持たせます。この日は、 $5-3+2$ のような3つの数の計算に挑戦しました。

問題作りが始まると、どの子も集中して取り組んでいました。立ち歩く子など一人もいません。

完成すると大喜び！楽しいお話が続々と生まれました。



2組は「友達の作った問題を解く」授業をしました。



どの子も一生懸命に伝え、真剣に聞いていました。1年生がしっかりして見えました。

隣同士で活動したあとは、どんな式ができたのか、計算の仕方は正しいのか、全員で確かめることも大切です。

右の写真は、絵をスクリーンに映し出して問題の説明をしているところです。

まず絵を見せながら問題の説明をします。隣の席の子は、どんな式になるか考えて、答えを出します。



楽しみながら計算力がついていくすてきな授業でした。子供たちも「算数はおもしろい」と感じてくれたのではないかと思います。

式や計算が正しいかどうかは、ブロックを動かしながら確かめていきます。

絵は静止画像ですから動きがありません。こうして具体物进行操作することで、どの子も理解することができるのです。

